

令和4（2022）年度 大阪府人権総合講座

総合案内（後期）

1 目的

人権教育・啓発や人権相談に携わる方に必要な知識やスキル等を経験に応じて習得できる講座を、年間を通じて開催します。これにより、人権尊重の社会づくりを推進するために必要な人材を幅広く養成します。

2 概要

- (1) 人権啓発や人権相談の現場で活躍する方を想定し、前期・後期あわせて8つの人材養成コースと幅広く人権問題が学べる人権問題科目群を設定しています。
- (2) 受講される方のニーズや職務経験、スキル等を踏まえて、段階別を実施します。
- (3) 今年度（後期）は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、対面・集合型で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、実施方法や内容、日程等を変更する場合があります。
- (4) 対象者は、大阪府内に在住・在勤で、大阪府、市町村、NPO 団体等、企業、地域等において人権教育・啓発や人権相談に携わる方です。
- (5) 人材養成コースも含めて1科目から受講する「科目選択受講」が可能です。

コースの構成

		名称	科目数	定員	修了認定
前期	人権養成コース	① 人権担当者入門コース	7	40	-
		② 人権ファシリテーター養成コース	12	20	あり
		③ 人権啓発企画担当者養成コース	11	20	あり
		④ 人権相談員養成コース	12	50	あり(※1)
	科目選択	人権問題科目群（前期）	28	60	(※1)
後期	人材養成コース	⑤ 人権ファシリテータースキルアップコース	6	20	-
		⑥ 人権コーディネータースキルアップコース	4	20	-
		⑦ 人権相談員スキルアップコース	12	30	あり(※2)
		⑧ 人権相談員専門コース	12	30	-
	科目選択	人権問題科目群（後期）	16	40	(※2)

(※1) <人権相談員養成コース>の修了認定を受ける場合は、人権問題科目群（前期・28科目全て）の履修が必要です。

(※2) <人権相談員スキルアップコース>の修了認定を受ける場合は、<人権相談員スキルアップコース>指定の全12科目に加えて、人権問題科目群（後期・16科目全て）の履修が必要です。

3 内容

(1) 人材養成コース

各コースの詳細については、P.4～5のコース案内をご覧ください。

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能です。

⑤ 人権ファシリテータースキルアップコース

人権啓発の取組みをさらに推進するために、職場、学校、地域等で人権学習・人権研修を参加体験型で進めるファシリテーターとしての視点・行動・スキル等の向上をめざすコースです。

⑥ 人権コーディネータースキルアップコース

人権に関する担当者が、人権関連事業の業務のコーディネートやマネジメントに関わる視点・行動・スキル等の向上をめざすコースです。

⑦ 人権相談員スキルアップコース

相談業務経験が概ね1年以上の相談員を対象に、人権問題解決のために必要な視点とともに、相談援助技術を向上させるコースです。

※ <人権相談員スキルアップコース>の修了認定を受ける場合は、<人権相談員スキルアップコース>指定の全12科目に加えて、人権問題科目群(後期・16科目全て)の履修が必要です。

⑧ 人権相談員専門コース

相談業務経験が概ね3年以上の相談員を対象に、人権問題解決のために、課題を多面的に捉えるスキルや他機関とのネットワーク形成等について学び、相談援助技術をさらに向上させるコースです。

(2) 人権問題科目群

様々な人権問題を幅広く学ぶことができる科目です。1科目から自由に選択して受講が可能です。

4 実施期間 令和4(2022)年12月16日(金)～令和5(2023)年1月31日(火)

5 主 催 大阪府(実施:一般財団法人大阪府人権協会)

6 会 場 HRCビル(AIAIおおさか) 〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37



○最寄り駅:

JR/Osaka Metro「弁天町」駅より
北東へ約600m

○各駅の最寄り出口:

- ① JR大阪環状線「弁天町」駅北口より
※ エレベーターは同駅南口にのみ設置
- ② Osaka Metro「弁天町」駅4番出口より
※ エレベーター設置

●実施方法等を変更する場合の対応について

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、実施方法や内容、日程等を変更する場合があります。
- ・ 実施方法をオンライン方式に切り替える場合は、Zoom アプリケーションのミーティング機能を使用します。切り替えは各科目実施日の1週間前までに判断し、当該科目受講予定者へ連絡します。その際、受講予定者には、別途「オンライン講座実施要領」を配付します。
- ・ 実施方法をオンライン方式に切り替える場合は、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末での学習環境が必要になります。各自で学習できる場所、機材等を確保してください。なお、「演習」形式の科目はマイク・カメラ機能が必要です。「講義」形式の科目はマイク・カメラ機能なくても受講可能ですが、その場合、発言や質問はできません。
- ・ このほか、実施方法や内容、日程等の変更については、受講予定者に個別に連絡します。

7 受講料 無料

※ ただし、会場までの交通費や、実施方法をオンライン方式に切り替えた場合のインターネット等の通信料など、受講にかかる費用は受講者の負担になります。

8 受講申込方法

(1) 受講申込書を、一般財団法人大阪府人権協会のホームページ(新着情報→【大阪府委託】令和4(2022)年度 大阪府人権総合講座(後期)を開催します)からダウンロードしてください(下記URLまたは右記二次元コードよりアクセス可)。

URL: https://www.jinken-osaka.jp/2022/11/42022_1_1.html

(2) 受講申込書に必要な事項を記入の上、Eメールにてお申し込みください。

Eメールアドレス: info@jinken-osaka.jp



9 申込期限 令和4(2022)年12月6日(火)正午 必着

10 受講者の決定

受講希望者が定員を超えた場合、

- ① 人材養成コースは、コース内の科目の一部を選択して受講される方よりもコース全科目の受講者を優先します。また、コース全科目の受講者においても、府及び市町村において人権教育・啓発や人権相談の業務等に従事する方を優先します。
- ② 人権問題科目群は、〈人権相談員スキルアップコース〉の受講決定者で修了認定を希望される方を優先します。
- ③ 上記①②以外の方は、抽選にて決定します。

11 受講通知

- (1) 受講の可否については、12月9日(金)以降に当協会から申込者へEメールで通知いたします。
- (2) 受講決定後にやむを得ず受講を辞退される場合は、速やかに当協会に連絡してください。
- (3) 受講決定者には、別途「受講票」および「大阪府人権総合講座 受講要領」を配付します。

12 履修

- (1) 人材養成コース、人権問題科目群とも、出席(受講)および受講レポートの提出をもって「履修」を認定します。
※ オンライン方式での実施に切り替えた場合、出席(受講)は接続状況により確認します。
- (2) 受講・履修の詳細は、受講決定者に配付する「大阪府人権総合講座 受講要領」を参照してください。

13 修了認定・修了証書の交付

- (1) 後期において修了認定を行うのは〈人権相談員スキルアップコース〉のみです。令和3~4年度または令和4~5年度の2年間での受講も可能です。(次年度は別途申込要)
- (2) 〈人権相談員スキルアップコース〉の修了認定には、以下の科目の履修が必要です。

・ 全28科目：〈人権相談員スキルアップコース〉指定の全12科目と、人権問題科目群(後期)全16科目の合計

- (3) 次の①及び②の要件を満たし、かつ「大阪府人権総合講座企画委員会」において修了認定を受けたコース受講者には、大阪府知事名の修了証書を交付します。

- ① コース修了認定に必要な全科目(上記(2)を参照)を履修すること。
※ 「講義」形式で行う人権問題科目群の科目については、やむを得ず欠席した場合、修了認定希望者に限り「特別レポート」の提出により履修に代えることができます(後期16科目のうち3科目まで)。
※ 「演習」形式の科目については、理由に関わらず、欠席した場合は履修したことにはなりません。
- ② 提示された課題(①の要件を満たす該当者にのみ提示します)についての「修了レポート」を期日(各コースの最終日から2週間以内)までに作成・提出すること。

14 科目履修証明書の交付

科目選択受講者や修了認定を行わないコースの受講者、修了認定を行うコースの未修了者や修了認定を要しない受講者のうち、科目履修証明書の交付を希望される方は、当該科目を履修後、期日(令和5年2月7日(火))までに指定用紙により申請してください。後日、履修の確認ができた科目について科目履修証明書を交付します。

※ 科目履修証明書は、一般財団法人大阪府人権協会代表理事名で交付します。

15 その他

- (1) 対面・集合型、オンライン方式を問わず、講座の配付資料は受講者のみ利用できます。複製や拡散等の2次使用は厳禁です。また、講義内容の録音・録画・キャプチャー(コンピューターのディスプレイ上に表示されている画像や動画をデータとして保存すること)や、SNSなどへのアップ等の2次使用も厳禁とします。
- (2) 上記を発見した場合、事務局は廃棄・削除の要求、及び受講の取り消しができることとします。
- (3) 受講の申し込み、受講者への連絡、受講レポートの提出等は原則としてEメールを使用します。
- (4) 受講申込書に記入いただいた個人情報は、本講座の運営のためにのみ使用することとし、適正に管理します。

◆人権ファシリテータースキルアップコース◆

人権の学びが、研修・学習参加者の日常における気づきや人権尊重の行動につながるよう、人権ファシリテーターとしての視点・行動・スキルの向上をめざすコースです。参加体験型学習をより良いものになりたいと考えておられる方にお勧めのコースです。

講師から学ぶとともに、受講者相互の学びあいによって、より多くの気づきが生まれます。

■実施日時：

(1) 令和4(2022)年12月16日(金) 9:30~16:45
人権の学びから行動へ①~⑥

■対象：ファシリテーターとしての講師(実践)経験がある方、人権ファシリテーター養成コース(前期)の修了(受講)者等

■定員：20名

■内容：全6科目(講師・科目名等はP.6をご確認ください)

講座や研修を通じて人権についての学びを深め、多くの知識や気づきを得ることができ一方、参加者がそれらとどのように向き合えば良いかわからず、多様性への反発や、自分自身の特権性への居直りなども含めて、様々な戸惑いや葛藤が生じる場合があります。

このような参加者の戸惑いや葛藤を拾い上げ、課題への理解を深めつつ、公正な社会の実現に向けて参加者の行動の変容を促していくことは、人権ファシリテーターに求められる大きな役割です。

知識を伝達するだけではない、人権の学びを自分自身と結び付けながら主体的・具体的な行動へと繋げていくために必要な、人権ファシリテーターの視点や姿勢、スキル等についてともに考えます。

※ 全て演習科目です。

※ 本コースは①~⑥を通して受講してください。

◆人権コーディネータースキルアップコース◆

人権に関連する担当者が、人権関連事業の業務のコーディネーターやマネジメントに関わる視点・行動・スキルの向上をめざします。

人権施策をすすめるために各事業や各部署などで組織のマネジメント等に取り組む方にお勧めのコースです。

■実施日時：

(1) 令和5(2023)年1月31日(火) 13:00~17:15
「新しい差別・偏見」と人権①②
アンコンシャス・バイアス①②

■対象：人権に関する各種事業実施に取り組む方、管理的業務を行う方等

※ 行政職員に焦点をあてた内容ですが、企業、NPO等、行政以外の方の受講も可能です。

■定員：20名

■内容：全4科目(講師・科目名等はP.6をご確認ください)

様々な人権課題を解決に向かわせるためには、差別や人権課題の現状を把握し、より効果的な人権施策を立案・実施する必要があります。このコースでは、以下の2つの観点からアプローチします。

前半は、近年の人権に関する意識調査などから明らかになる今日的・現代的な差別・偏見の特徴から、改めて人権の役割とそれを保障するための制度・条件や、いま求められる教育や啓発のあり方を学びます。

後半は、人権啓発や人権相談等の業務に携わる人が、自身のなかにある無自覚な差別や偏見に気づき、対処することで、より多様な価値観を認め合える社会づくりに向けた行動について考えます。

※ 全て演習科目です。

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能ですが、各科目とも①②を通して受講してください。

◆人権問題科目群◆

いろいろな人権問題を幅広く学びたい方が、深めたい課題や学んでみたい内容に応じて、受講する科目を1科目から自由に選択することが可能な科目群です。

職場、地域等において多様化する今日の人権問題を学び、人権が尊重される社会をめざしましょう。

※ 〈人権相談員スキルアップコース〉の修了認定を受ける場合は、人権問題科目群(後期・16科目全て)の履修(申込要)が必要です。

P.5 下段につづく→

◆人権相談員スキルアップコース◆

相談者の悩みや相談にいたる背景を理解するとともに、相談・面接のスキルの向上をめざします。また、新しい人権課題や法律・制度についても学ぶことができます。相談員としてスキルアップをしたい方にお勧めのコースです。

講師から学ぶとともに、受講者相互の学びあいから、多角的な捉え方やスキルが習得できます。

※ 〈人権相談員スキルアップコース〉の修了認定を受ける場合は、〈人権相談員スキルアップコース〉指定の全12科目に加えて、人権問題科目群（後期・16科目全て）の履修（申込要）が必要です。

■実施日時：

- (1) 令和4（2022）年12月23日（金）9:30～16:45
相談記録について①～③
電話相談・面接相談①～③
- (2) 令和4（2022）年12月27日（火）9:30～16:45
相談・対人援助の理論①～③
SNS相談①～③

■対象：相談業務経験が概ね1年以上の方、人権相談員養成コース（前期）の修了（受講）者等

■定員：30名

■内容：全12科目（講師・科目名等はP.6をご確認ください）

相談や対人援助に必要な理論とともに、面接・電話・SNSなどを通じた相談の技術・手法と、適切な記録の取り方など、相談から人権課題の解決に至るプロセスを具体的に学ぶことで、相談員としてのスキルの向上をめざします。

※ 全て演習科目です。

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能ですが、各科目とも①～③を通して受講してください。

◆人権相談員専門コース◆

人権問題解決のために、課題を多面的に捉えるスキルや他機関とのネットワーク形成等について学び、より専門的な視点から、相談援助技術をさらに向上させるコースです。

講師から学ぶとともに、受講者相互の学びあいから、多角的な捉え方やスキルが習得できます。また、受講者同士の交流を通じた、ネットワーク形成のきっかけの場にもなります。

■実施日時：

- (1) 令和5（2023）年1月12日（木）9:30～16:45
事例検討Ⅰ①～③
事例検討Ⅱ①～③
- (2) 令和5（2023）年1月17日（火）9:30～16:45
相談員のメンタルヘルス①～③
ケース会議①～③

■対象：相談業務経験が概ね3年以上の方、主任相談員、管理者、人権相談員養成コース（前期）および人権相談員スキルアップコース（昨年度以前）の修了（受講）者等

■定員：30名

■内容：全12科目（講師・科目名等はP.6をご確認ください）

一機関だけでは解決が困難な相談・援助事例や、地域を基盤としたケース会議のあり方などの検討を通して、相談者の置かれている個人的な環境だけでなく、地域社会や社会構造など、複数のシステムに働きかける視点と技術を学びます。

※ 全て演習科目です。

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能ですが、各科目とも①～③を通して受講してください。

→P.4 下段よりつづき

■実施日時：令和5（2023）年1月6日（金）、1月19日（木）、1月23日（月）、1月25日（水）

【1限】9:30～11:00、【2限】11:15～12:45、【3限】13:30～15:00、【4限】15:15～16:45

■対象：どなたでも ※ 〈人権相談員スキルアップコース〉の修了認定を受ける場合は〈人権相談員スキルアップコース〉指定の全12科目に加えて、人権問題科目群（後期・全16科目）の履修が必要です。

■定員：各科目40名

■内容：全16科目（講師・科目名等はP.7をご確認ください）

女性、子ども、高齢者、障がい者等に関わる制度・法律や、人権課題の解決に向けた様々な取り組みなど、多様化する今日の人権問題について、幅広く学ぶことができます。

令和4(2022)年度 大阪府人権総合講座(後期) 【人材養成コース】 カリキュラム

■複数のコース、コースと人権問題科目群、コース内の科目の一部を選択して受講するなど自由に選択が可能です。

No.	実施日	時間	形式	科目名	講師名 (敬称略)	所属	人材養成コース					
							ファシリテーター スキルアップ	コーディネーター スキルアップ	相談員 スキルアップ	相談員 専門		
1	2022年 12月16日 (金)	9:30~ 16:45	演習	人権の学びから行動へ①~⑥ 公正な社会の実現と ファシリテーターの役割	栗本 敦子	Facilitator's LABO (えふらぼ)	○					
			演習									
			演習									
			演習									
			演習									
			演習									
2	2022年 12月23日 (金)	9:30~ 12:45	演習	相談記録について①~③ 演習を通してスキルアップをめざします	潮谷 光人	東大阪大学 こども学部			○			
			演習									
			演習									
		13	2022年 12月27日 (火)	13:30~ 16:45	演習	電話相談・面接相談①~③ 演習を通してスキルアップをめざします	都村 尚子	関西福祉科学大学 社会福祉学部			○	
					演習							
					演習							
3	2022年 12月27日 (火)	9:30~ 12:45	演習	相談・対人援助の理論①~③ 演習を通してスキルアップをめざします	鶴浦 直子	大阪公立大学大学院 生活科学研究科			○			
			演習									
			演習									
		14	2023年 1月12日 (木)	13:30~ 16:45	演習	SNS相談①~③ 演習を通してスキルアップをめざします	宮田 智基	帝塚山学院大学大学院 人間科学研究科			○	
					演習							
					演習							
4	2023年 1月12日 (木)	9:30~ 12:45	演習	事例検討Ⅰ①~③ 講師提供事例をもとに、支援方法等を 議論します	與那嶺 司	神戸女学院大学 文学部				○		
			演習									
			演習									
		19	2023年 1月17日 (火)	13:30~ 16:45	演習	事例検討Ⅱ①~③ 講師提供事例をもとに、支援方法等を 議論します	大谷 悟	特定非営利活動法人 くまとり Rond				○
					演習							
					演習							
5	2023年 1月17日 (火)	9:30~ 12:45	演習	相談員のメンタルヘルス①~③ より良い相談活動につなげるために	津村 薫	フェリアン				○		
			演習									
			演習									
		25	2023年 1月31日 (火)	13:00~ 15:00	演習	「新しい差別・偏見」と人権①② 人権意識調査を読み解く	阿久澤 麻理子	大阪公立大学 人権問題研究センター /都市経営研究科		○		
					演習							
					演習							
31	2023年 1月31日 (火)	15:15~ 17:15	演習	アンコンシャス・バイアス①② 無自覚の偏見・差別を考える	北川 知子	特定非営利活動法人 とんだばやし国際交流協会		○				
			演習									
			演習									
人材養成コース 指定科目数							6	4	12	12		



〈人権相談員スキルアップコース〉の修了認定を受ける場合は、〈人権相談員スキルアップコース〉指定の全12科目に加えて、人権問題科目群(後期・16科目全て)の履修(申込要)も必要です。(P.7参照)

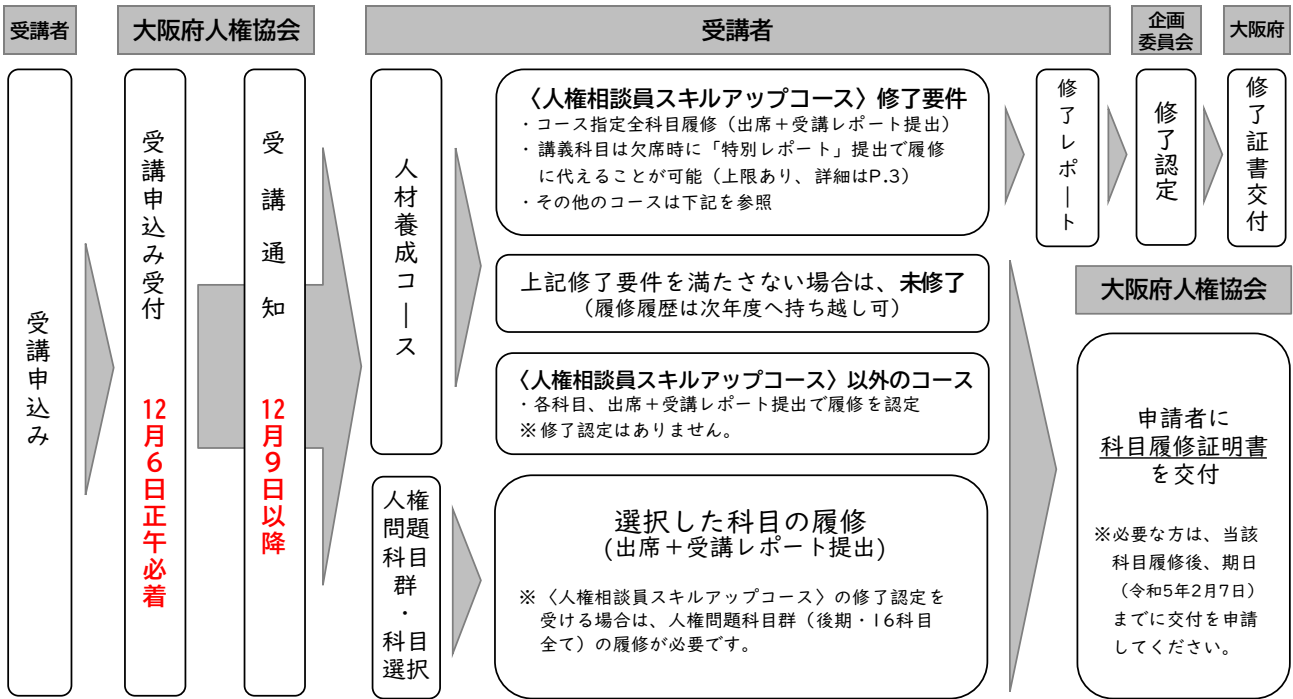


■I 科目から自由に選択して受講が可能です

※ <人権相談員スキルアップコース>の修了認定を受ける場合は、<人権相談員スキルアップコース>の指定全12科目に加えて、人権問題科目群(後期・16科目科目全て)の履修が必要です。

No.	実施日	時間	形式	科目名	講師名 (敬称略)	所属
7	2023年 1月6日 (金)	9:30~ 11:00	講義	成年後見制度と日常生活自立支援事業 制度の概要及び相談支援について	堤添 隆弘	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 権利擁護推進室
		11:15~ 12:45	講義	生活困窮者自立支援法 生活困窮者自立支援制度の理念と取り組み	明石 隆行	種智院大学 人文学部
		13:30~ 15:00	講義	自殺防止の取り組み 寄り添い・支える存在になるために	北條 達人	特定非営利活動法人 国際ビフレンダース 大阪自殺防止センター
		15:15~ 16:45	講義	様々な人権「男性の人権課題」 男性の相談と支援	濱田 智崇	京都橋大学 健康科学部
8	2023年 1月19日 (木)	9:30~ 11:00	講義	各種制度・法律「貸付制度」 生活福祉資金貸付制度の概要について	石井 慎太郎	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 生活支援部
		11:15~ 12:45	講義	様々な人権「ヤングケアラーの実態と課題」 家族のケアを担う子どもたち	斎藤 真緒	立命館大学 産業社会学部
		13:30~ 15:00	講義	様々な人権「社会的孤立を支える」 排除から包摂への取り組み	勝部 麗子	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
		15:15~ 16:45	講義	裁判上の救済の仕組み 裁判を通じた人権侵害被害の回復について	大川 一夫	弁護士
9	2023年 1月23日 (月)	9:30~ 11:00	講義	高齢者虐待について 高齢者虐待の現状と課題	高橋 昌子	弁護士
		11:15~ 12:45	講義	様々な人権「社会的排除と自己責任」 若者と働くことから考える人権	妻木 進吾	龍谷大学 経営学部
		13:30~ 15:00	講義	様々な人権「日本の難民問題」 難民問題の理解と支援	田中 恵子	RAFIQ(在日難民との 共生ネットワーク)
		15:15~ 16:45	講義	地域福祉の理論 増進型地域福祉について	小野 達也	桃山学院大学 社会学部
10	2023年 1月25日 (水)	9:30~ 11:00	講義	障害者虐待防止法と救済制度 障害者虐待の防止と相談支援について	前川 敦	社会福祉士
		11:15~ 12:45	講義	裁判外による救済の仕組み 裁判外紛争解決手続等について	山川 良知	弁護士
		13:30~ 15:00	講義	児童虐待の現状と課題 児童虐待防止法及び相談支援について	川本 典子	特定非営利活動法人 児童虐待防止協会
		15:15~ 16:45	講義	DVの現状と課題 DV・デートDVの理解と支援	乗井 弥生	弁護士

■受講の流れ



受講申込書は一般財団法人大阪府人権協会のホームページからダウンロードしてください。

URL : https://www.jinken-osaka.jp/2022/11/42022_1_1.html

《オンライン方式に切り替えた場合のZoomの使用について》

- ・ 講座の実施方法をオンライン方式に切り替えた場合、最新のコンピュータウイルス対策等がなされている機器を使用して受講してください。講座の主催者・実施者は受講によるコンピュータウイルス感染や第三者の妨害等行為など、不可抗力によって生じた損害等に一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ・ 受講申込前に必ず、下記URLにてZoom ミーティングの接続テストを実施してください。
※ Zoom ミーティング接続テスト URL : <http://zoom.us/test>
- ・ Zoom 利用にあたっての操作方法等の問い合わせ対応やサポートはできませんのでご了承ください。

※ Zoom 及び Zoom (ロゴ) は、Zoom Video Communications, Inc.が提供するシステムです。

《大阪府人権擁護士資格取得についてのお知らせ》

大阪府人権擁護士の資格取得には、前期〈人権相談員養成コース〉の修了、後期開講の〈人権相談員スキルアップコース〉の修了（〈人権相談員スキルアップコース〉指定の全12科目と後期人権問題科目群全16科目の履修）、及び後期開講の〈人権相談員専門コース〉の全科目履修が必要です。

※ 詳しくは、大阪府人権局人権擁護課のHPをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/jinken/yougosi/index.html>

令和4（2022）年12月23日（金）

12時50分より大阪府人権擁護士に関するガイダンスを行います。

※ 大阪府人権擁護士に関するお問い合わせ先：大阪府人権局人権擁護課

TEL : 06-6210-9283 FAX : 06-6210-9286 Eメール : jinken-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp

問い合わせ・受講申込み先

一般財団法人大阪府人権協会 担当：本郷（ほんごう）
〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階
TEL : 06-6581-8613 FAX : 06-6581-8614
Eメール : info@jinken-osaka.jp